

『第9回 中日本選手権大会』 大会要綱

- 《 開催日程 》 2020年7月11日(土)【予備日 7月12日(日)】
- 《 開催場所 》 初日 7/11(土) 北勢中央公園野球場
予備日 7/12(日) 北勢中央公園野球場
- 《 開会式 》 なし ※集合後審判部より監督・主将に対して、注意事項の伝達を行う
- 《 代表権 》 今大会の優勝チームは、第8回中日ドラゴンズカップ2020中学硬式野球大会出場権獲得
- 《 参加チーム 》 東海支部／春季大会予選優勝・準優勝チーム 北陸支部／春季大会予選優勝チーム
- 《 出場チーム 》 東海支部／優勝 三重ゼッツヤング 準優勝 愛知プリンスヤング
北陸支部／優勝 BANDITS YOUNG 全3チーム
- 《 主催 》 全日本少年硬式野球連盟 中日本ブロック
- 《 後援 》 全日本少年硬式野球連盟
- 《 大会役員 》
- | | | | |
|----------|-------|------------------|----------------|
| 大会会長 | 島村 充哉 | 全日本少年硬式野球連盟 常務理事 | 中日本ブロック ブロック長 |
| 大会委員長 | 上山 武士 | 全日本少年硬式野球連盟 理事 | 中日本ブロック 副ブロック長 |
| 大会副委員長 | 三輪 尚宏 | 全日本少年硬式野球連盟 | 東海支部 支部長 |
| 大会副委員長 | 小川 剛志 | 全日本少年硬式野球連盟 | 北陸支部 支部長 |
| 大会実行委員長 | 津曲 敏憲 | 全日本少年硬式野球連盟 | 東海支部 副支部長 |
| 大会実行副委員長 | 佐羽 英機 | 全日本少年硬式野球連盟 | 東海支部 副支部長 |
| 大会実行副委員長 | 村井 良行 | 全日本少年硬式野球連盟 | 東海支部 副支部長 |
| 大会実行副委員長 | 川嶋 彰信 | 全日本少年硬式野球連盟 | 北陸支部 副支部長 |
| 大会運営委員長 | 塚原 利和 | 全日本少年硬式野球連盟 | 東海支部 事務局長 |
| 大会運営副委員長 | 金山 昌稔 | 全日本少年硬式野球連盟 | 東海支部 静岡担当事務局 |
| 大会会計 | 太田 明美 | 全日本少年硬式野球連盟 | 中日本ブロック 会計 |
| 大会審判長 | 佐羽 英機 | 全日本少年硬式野球連盟 | 東海支部 審判長 |
- 《 大会参加費 》 32,000円／チーム(試合球含む)
- 《 大会規定 》 2020年度版 全日本少年硬式野球連盟 大会規定に準ずる
計3チームによるリーグ戦 (別頁参照)
- 《 選手登録名簿 》 試合当日に、指導者・選手登録名簿3部を持参し、本部へ提出する
- 《 審判員 》 ヤングリーグ東海支部・北陸支部 公認審判員

全日本少年硬式野球連盟(ヤングリーグ)は、平成5年3月に設立され東北から九州/沖縄までの200を超える所属チームを擁する小学生・中学生を対象にした組織です。

中日本ブロックは、現在【中学部】24チーム、小学部3チームで構成され、子供達の夢の達成に尽力し、野球が出来る環境に心より感謝するとともに、ヤングリーグのモットーである【全力疾走、全力プレー】と少年硬式野球を通じ、誰にでもできる『挨拶』、どんな事にも挑戦する『向上心』、最後まで諦めない『強い心』、多くの人に支えられ野球が出来る『感謝の気持ち』、仲間を大切にする『思いやりの心』、といった精神面の指導にも力を入れ、思春期の人間形成をサポートします。



『第9回 中日本選手権大会』リーグ戦組合せ

集合時間：8時00分
開会式：なし

	三重ゼッツヤング (東海 優勝)	BANDITS YOUNG (北陸 優勝)	愛知プリンスヤング (東海 準優勝)
三重ゼッツヤング (東海 優勝)		A-① 9:00 一塁 三重Z 三塁 BANDITS	A-③ 14:00 一塁 愛知プリンス 三塁 三重Z
BANDITS YOUNG (北陸 優勝)	A-① 9:00 一塁 三重Z 三塁 BANDITS		A-② 11:30 一塁 愛知プリンス 三塁 BANDITS
愛知プリンスヤング (東海 準優勝)	A-③ 14:00 一塁 愛知プリンス 三塁 三重Z	A-② 11:30 一塁 愛知プリンス 三塁 BANDITS	

はグラウンド担当

- 参加費用 ¥32,000
- 試合球 Wilson製試合球
- BSO担当 当該試合一塁側チーム
- 得点板担当 当該試合三塁側チーム
- シートノック なし
- 試合時間 無制限（別紙『試合時のインフル・コロナ対応マニュアル【中日本】』には、試合時間2時間とありますが、今大会『全日本少年硬式野球連盟大会規定』に則り、時間無制限とします。）
- アナウンス・記録 当該チーム各2名/試合
- グラウンド整備 勝利チーム
- 審判員 東海支部・北陸支部 公認審判員

【試合会場】

A	北勢中央公園野球場 (三重県四日市市西村町1080番地 電話：059-339-2319)
予備日	北勢中央公園野球場 (三重県四日市市西村町1080番地 電話：059-339-2319)

【第8回 中日ドラゴンズカップ2020 出場チーム選考方法】

- ① 勝ち星の一番多いチーム
- ② 勝ち星が同一の場合は、以下の基準とする
 - 得点率の一番高いチーム(2試合の合計得点をイニング数で割る《**タイブレークの得点は含まない**》)
 - 得点率で決着がつかない場合は抽選

【備考】

※大会期間中の負傷・疾病については、応急措置のみ行う。尚、参加選手は健康保険証を持参する事が望ましい。

※熱中症等の対策は、各チームにて十分な配慮を行う事。

※新型コロナウイルス感染症対策は、2020年6月27日付 別紙『大会・練習試合時の新型コロナウイルス感染対策【インフル含む】について』に従うこと。

※消毒液・マスク・フェイスシールド等、予防に関する物品は、各チームで準備する事。

※アナウンスやBSOに入る方は、フェイスシールド着用を必須とする。

『第9回 中日本選手権大会』 大会規定

- 1). チームの選手登録は11名以上25名以内とする。(試合前審査時11名に満たない場合は出場を禁止する。)
- 2). 選手は全員連盟指定の傷害保険に加盟しなければならない。
- 3). チーム旗及びプラカードは連盟指定の物とし大会等には必ず持参すること。
- 4). 大会出場は登録選手に限り、背番号は必ず登録された番号とする。変更は認めない。
- 5). 監督(背番号80)コーチ(背番号70)は選手と同じユニホームを着用する事。総監督をおく場合は(背番号90)とする。但しベンチ入りは監督不在の場合に限る。指導者証を必ず携帯すること。
- 6). 登録選手及び登録された監督・コーチ(2名)・スコアラーのみベンチに入ることができる。
- 7). 審査は連盟発行の選手・指導者証明証(ライセンス証)により行う。(証明証を携帯していない場合は出場禁止。ただし試合開始までに用意できる時は球場責任者の審査をうけベンチ入りを認める。)
- 8). 監督、コーチ、選手はユニホームの左袖に連盟指定マークを付けなければならない。又、スコアラーは選手と同じ帽子を着用すること。
- 9). 監督・コーチ・スコアラー等不在の場合(細則参照)
 - ① 監督・コーチ(総監督)が不在の場合は速やかに連盟本部(大会本部)に申請書を提出し、その事情を認めた時は代理監督に許可する。その場合、代理である事の証明とメンバー表に明記する。(指導者カード要)
 - ② スコアラーはあくまでスコアラーであり不在の場合は本部に申請し代理を認める。(指導者カードが必要)
 - ③ チーム代表(副代表含む)は監督・コーチ・スコアラーになれない。
- 10). 捕手は必ずユニホームの下に規定の防具を試合及び練習を問わず着用をすること。
- 11). 外国人選手及び女子選手の出場を認め人数制限はしない。
- 12). ヘルメットは1チーム7個以上同色完全なものを備えること(但しボールボーイ用として2個準備すること)
- 13). ベンチの選択は、リーグ戦組合せ表の通りとする。
- 14). メンバー表(5部)交換時、両キャプテンによるジャンケンにより先攻、後攻を決める。中学部のメンバー表交換には、チーム指導者(監督・コーチ・スコアラーいずれか)、大会本部役員、審判員が立ち合い投球回数制限・可能回数を確認する。(資料様式1、様式2)
- 15). グランドの都合で大会リーグ戦規定が別に設定されている場合はそれに従うこと。
- 16). 試合前のシートノックは中止する。ファールグラウンドでのサイドノックは認める。
- 17). メガホンを使用するのは、指導者のみとし、ベンチ持込は3個までとする。
- 18). 監督、コーチが選手にアドバイスをする時はファールラインのところで行う。
- 19). 監督が投手に指示を与える目的をもってタイムを要求する場合直接、間接を問わず1イニン

グ2回目には自動的に投手交代となる。その投手は、他の守備位置につくことはできるが、同一イニングでは再び投手として登板することはできない。但し、新しいイニングに入れば登板することが出来る。

- 20). 試合中、攻撃側選手に不慮の事故が起き、一時走者を代えないと試合の中断が長引くと審判員が判断した時は、臨時の代走者を許可する。この代走者は投手と捕手を除いた選手のうち、打撃の完了した直後の者とする。
- 21). 審判に対して限度を超える侮辱、暴力とみなす行為が認められた場合、審判員は即刻退場を求めることが出来る。ベンチ外【応援団席・観客】から同様の場合も球場責任者が審判員と相談し退席を求めることが出来る。
- 22). 試合開始予定時間の60分前までに到着し所定の審査を受ける。いかなる理由であれ試合開始時間にチームが球場に到着なき時には球場責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言する事ができる。
- 23). 雷雲、雷鳴が発生した場合には球場責任者、審判員の判断で、すみやかに選手を避難させること。
- 24). 試合方式（細則参照）

- ① 試合は、時間無制限で7回戦を行い、4回終了をもって正式試合とする。
7回終了後、同点の場合は勝負が決まるまでタイブレークを行う。
- ② 4回終了時（後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は4回表終了時）
4回10点、5回以降7点差の場合コールドゲームとする。
- ③ 日没、降雨、その他で試合続行が不可能となった場合、野球規則7.01【注】により勝敗を決する。試合成立前（4回終了迄）に上記理由で試合続行が不可能になった場合はノーゲームとする。
- ④ 試合の進行をスピーディにする為に、監督・コーチの指示伝達は1試合（7回）で守備・攻撃のタイムを各2回迄とする。延長戦・タイブレークに入った場合には1イニングに1回とする。

細則参照（タイム回数）

注1) 野手（捕手含む）が2名以上マウンドに行った場合は1回の計測をする。

注2) 捕手は、投手のもとへ行くのは1試合、3回迄として、投手交代・延長戦・タイブレークは各1回とする。

【注】中学生の部 投手の投球回数制限統一ガイドラインに基づく（日没、降雨、その他試合続行が不可能となった場合を含む）

- ① 投手は1日7イニング以内とする。ただし、端数回数（0/3回 1/3回 2/3回）は切り上げ1回とする。端数回数0/3回は、一死もとらずに降板した場合を示す。
- ② 連続する2日間で10イニング以内とする。ただし、端数回数（0/3回 1/3回 2/3回）は切り上げ1回とする。端数回数0/3回は、一死もとらずに降板した場合を示す。

- ③ 同日複数試合に登板した投手及び連続する2日間で合計5イニングを超えた投手（5イニング可）は、当該試合制限回数から翌日の試合まで投手または捕手として試合に出場することは出来ない。
- ④ 連続3試合を投げた投手は当該試合制限回数から翌日の試合まで投手または捕手として試合に出場することは出来ない。
- ⑤ 投球回数記録表様式1は毎試合、様式2は1日終了時点で責任審判員を經由し球場本部に提出する。

25). 1チームの登録選手数が11名に満たない場合、連合チームとして参加することが出来る。

- ① 予選から本大会までの1大会の連合チームとする。
- ② 1大会ごとの連合チームとし、その大会での代表、監督、コーチはそれぞれのチームから選ぶこととする。
- ③ ユニホームについては、それぞれの所属するチームのままで良しとする。
- ④ 連合チーム結成は近隣のチーム同士が望ましい。支部をまたぐ場合は両支部長の了承を得ること。人数の多いチームで支部登録をするが、本部大会を除く大会参加費用は支部長間の協議とする。

26). 全日本少年硬式野球連盟大会規定は、今年度公認野球規則に準ずる。

参考 野球規則7.01(g) 細則参照

コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- ① 先攻チームがその回の表で同点としたが、後攻チームが得点しないうちにコールドゲームが宣告された場合
- ② 先攻チームがその回の表で逆転したが、後攻チームが同点又は再逆転する得点を記録しないうちにコールドゲームが宣告された場合

参考 タイブレイク実施 細則参照

- ① 中学生の部は7回を超えて、小学生の部は6回を超えて両チームの得点が等しいとき、攻撃は一死走者満塁の状態から行なうものとする。
- ② 打者は前回正規に打撃を完了した打者の次の打順の者とする。
- ③ 走者は前項による打者の前の打順の者が一塁走者、順次前の打者が二塁走者、三塁走者となる。
- ④ この場合の代打及び代走は認められる。
- ⑤ 投手の投球回数を継続し厳守する。

27). 申告敬遠（故意四球）について、以下の様に定めるものとする。

- ① 打者に対し投球する前に申告する場合、敬遠を申告できる。
- ② 打者に対し投球後に申告する場合（例えば3ボール1ストライク等）、敬遠を申告できる。
- ③ ①の場合は0球、②の場合は4球で投球数を記録する。
- ④ 攻撃側チームは守備側からの申告敬遠（故意四球）を拒否できない。

28.) 審判含む捕手用マスクはSGマーク合格品である事。

29). その他、大会開催会場のローカルルールを適用するものとする。

ホームランボール記入例

ホームラン

第9回 中日本選手権大会

2020年7月〇日

与田 剛 君

北勢中央公園野球場

VS (対戦相手チーム名)